

大学・地域共創プラットフォーム香川

中長期計画（2024年度～2028年度）
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～

2024年9月26日 策定

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画 目次

1	大学・地域共創プラットフォーム香川の概要	・ ・ 1
2	中長期計画について	
	(1) 計画の目的	・ ・ 3
	(2) 活性化対象地域	・ ・ 3
	(3) 計画の期間	・ ・ 3
	(4) 現状と課題	・ ・ 3
	(5) ビジョン・基本目標及び数値目標	・ ・ 7
	(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法	・ ・ 7
	(7) ロードマップ	・ ・ 8

※2024年度ロードマップは別紙参照

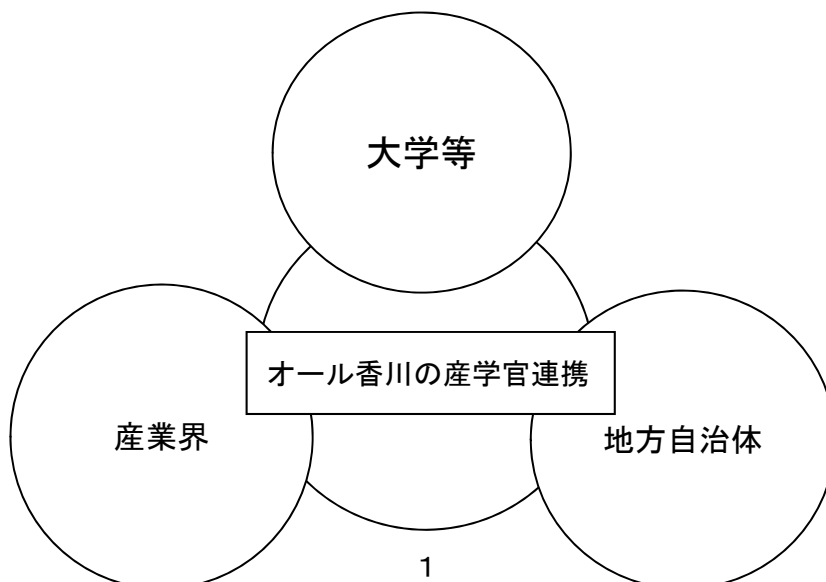
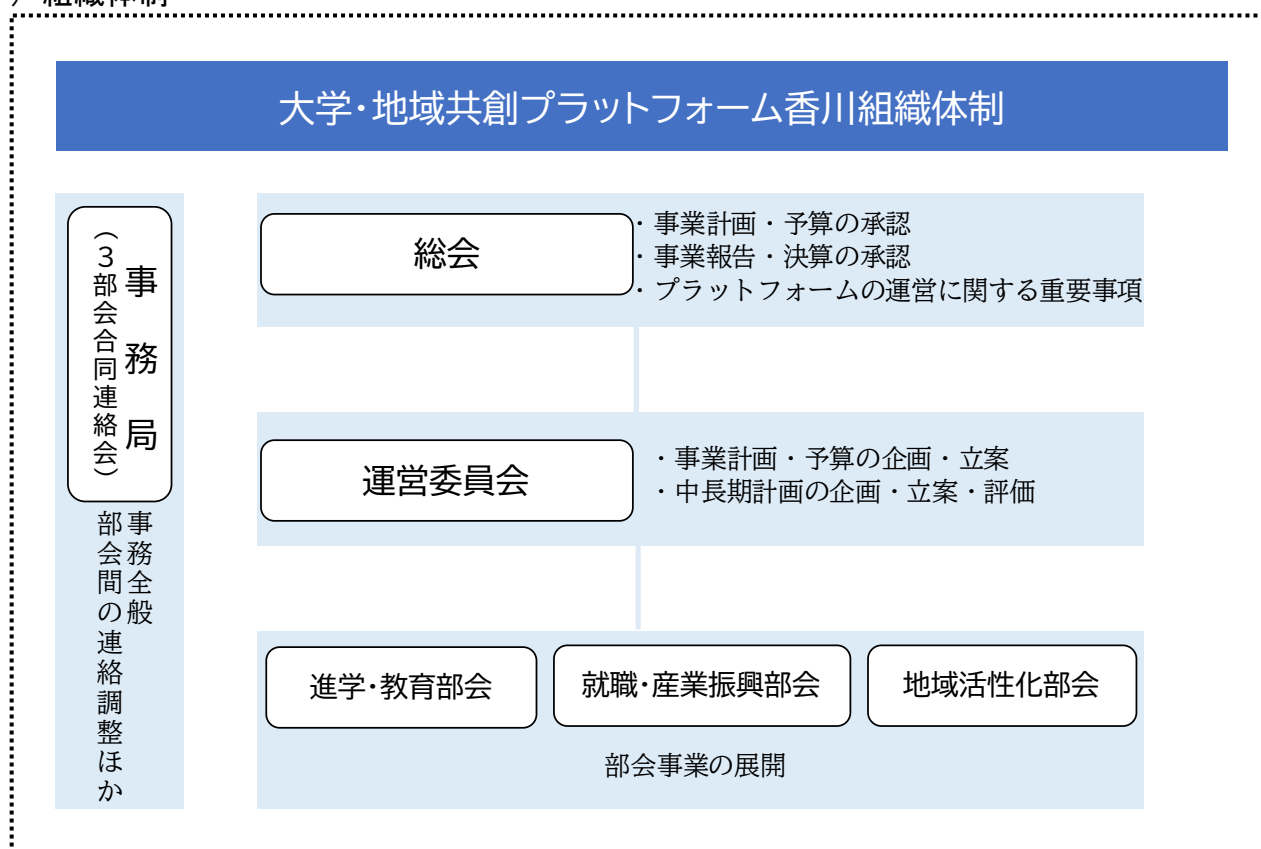
【参考】

「県内大学等の学術分野マップ」	・ ・ 12
「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」（抜粋）	・ ・ 13

1 大学・地域共創プラットフォーム香川の概要

- 「大学・地域共創プラットフォーム香川」（以下、「本プラットフォーム」という。）は、前身組織である「大学コンソーシアム香川（2015年9月～2022年3月）」及び「COC+-NEXTかがわ（2021年4月～2022年3月）」での県内進学及び地域定着に係る事業の実績を踏まえ、これを承継・強化するとともに、産業界、地方自治体を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として、令和4年（2022年）3月に設立された。
- 組織運営体制として、総会の下に運営委員会を置き、進学・教育部会、就職・産業振興部会、地域活性化部会の3つの部会を設け、事業を推進している。事務局は、総会及び運営委員会の事務その他、プラットフォーム全般の事務を処理する。また、事務局内に設置する3部会合同連絡会が、事業実施に関する部会間の連絡調整等を担っている。

（1）組織体制



(2) 構成機関

大学等（9機関）
香川大学
香川県立保健医療大学
四国学院大学
徳島文理大学
高松大学
香川短期大学
高松短期大学
せとうち観光専門職短期大学
香川高等専門学校

産業界（8機関）
香川県商工会議所連合会
香川県商工会連合会
香川県中小企業団体中央会
香川経済同友会
香川県中小企業家同友会
香川県農業協同組合中央会
香川県漁業協同組合連合会
香川県銀行協会

地方自治体（18機関）
香川県
高松市
丸亀市
坂出市
善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
三豊市
土庄町
小豆島町
三木町
直島町
宇多津町
綾川町
琴平町
多度津町
まんのう町

2 中長期計画について

(1) 計画の目的

- 本計画は、高等教育機関の現状や課題を踏まえ、「香川県的高等教育及び地域の活性化」に資するために、本プラットフォームがどのような役割を果たすべきか、その進むべき方向性を確認するために策定するものであり、今後5年間の活動の指針となるものである。

(2) 活性化対象地域

- 本計画の活性化対象地域は、本プラットフォームが活性化の対象として設定している地域（香川県）とする。

(3) 計画の期間

- 令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とする。

(4) 現状と課題

- 本県の人口は、平成11(1999)年の約103万人をピークに減少に転じ、令和5(2023)年の人口は約93万人と、平成12(2000)年以来24年連続で減少している。また、人口に占める生産年齢人口の割合、18歳人口も減少傾向にあり、地域社会・地域経済を支える人材不足が予測される。【図表1、2、3】

- 本プラットフォームにおいて実施した、「県内企業の採用活動に関する実態調査（令和6年3月）」では、県内企業の平均人材充足率は62%となっており、すでに県内における人材不足が深刻化していることが分かる。

- 大学進学者の多くが県外へ進学している。県内高校出身者で令和5年4月に大学に進学した者のうち、県内大学へ進学した者の割合は17.4%、短大へ進学した者のうち、県内短大へ進学した者の割合は67.3%である。【図表4】

- 県内出身者が県内大学・短大・高等専門学校に進学すれば、約8割が県内に就職していることから、県内の地域社会・地域経済を支える人材を確保するためには、県内就職率を増加させるとともに、県内進学率の向上を目指す必要がある。【図表5】

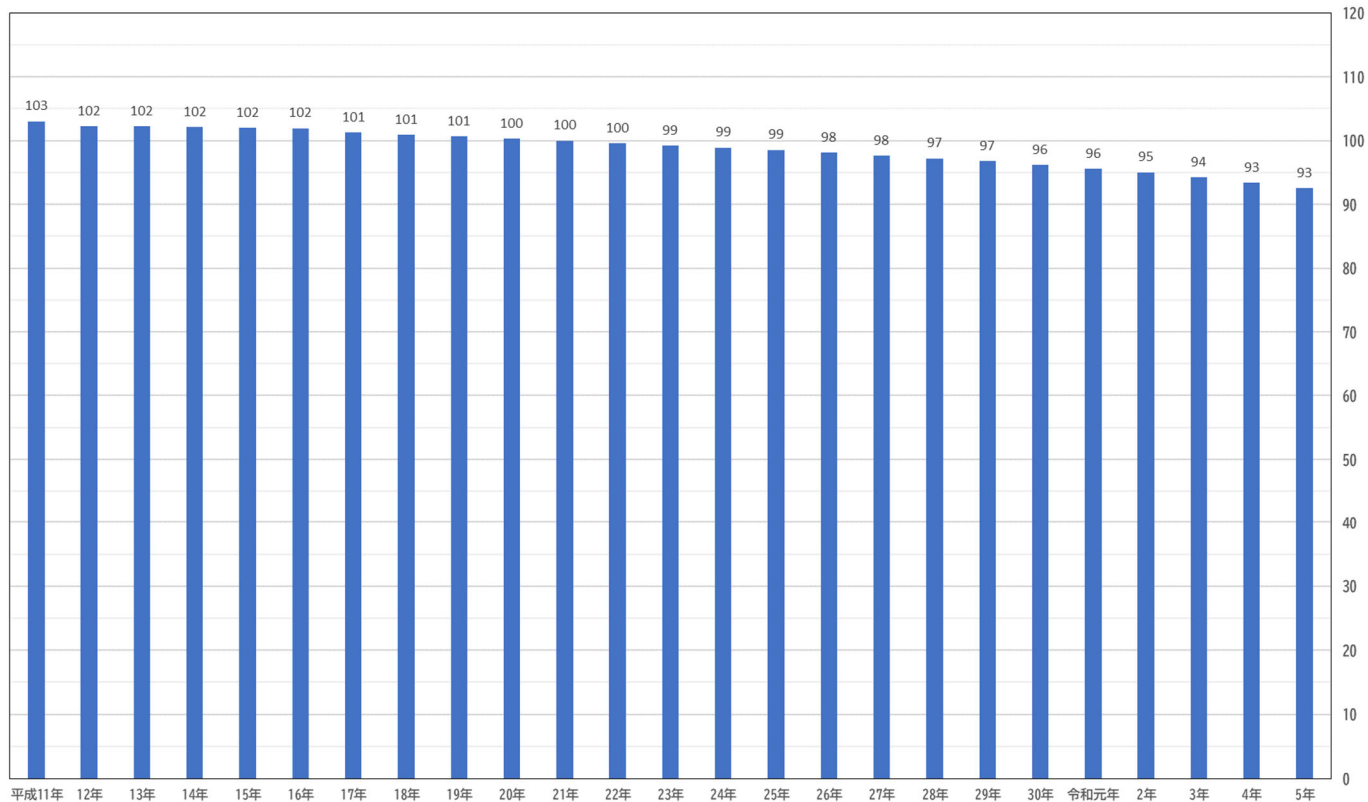
- こうした状況の中、香川県においては、令和3(2021)年度からの新たな香川づくりの指針として、「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」が策定されている。

- 当該計画における重点施策「人口100万人計画」における取組みの一つとして「県内大学等との連携強化」を掲げ、県内大学等との連携強化、県内大学等の拠点性や魅力の向上に取り組んでいる。

【図表 1】

香川県の人口推移（平成11年～令和5年）

(万人)

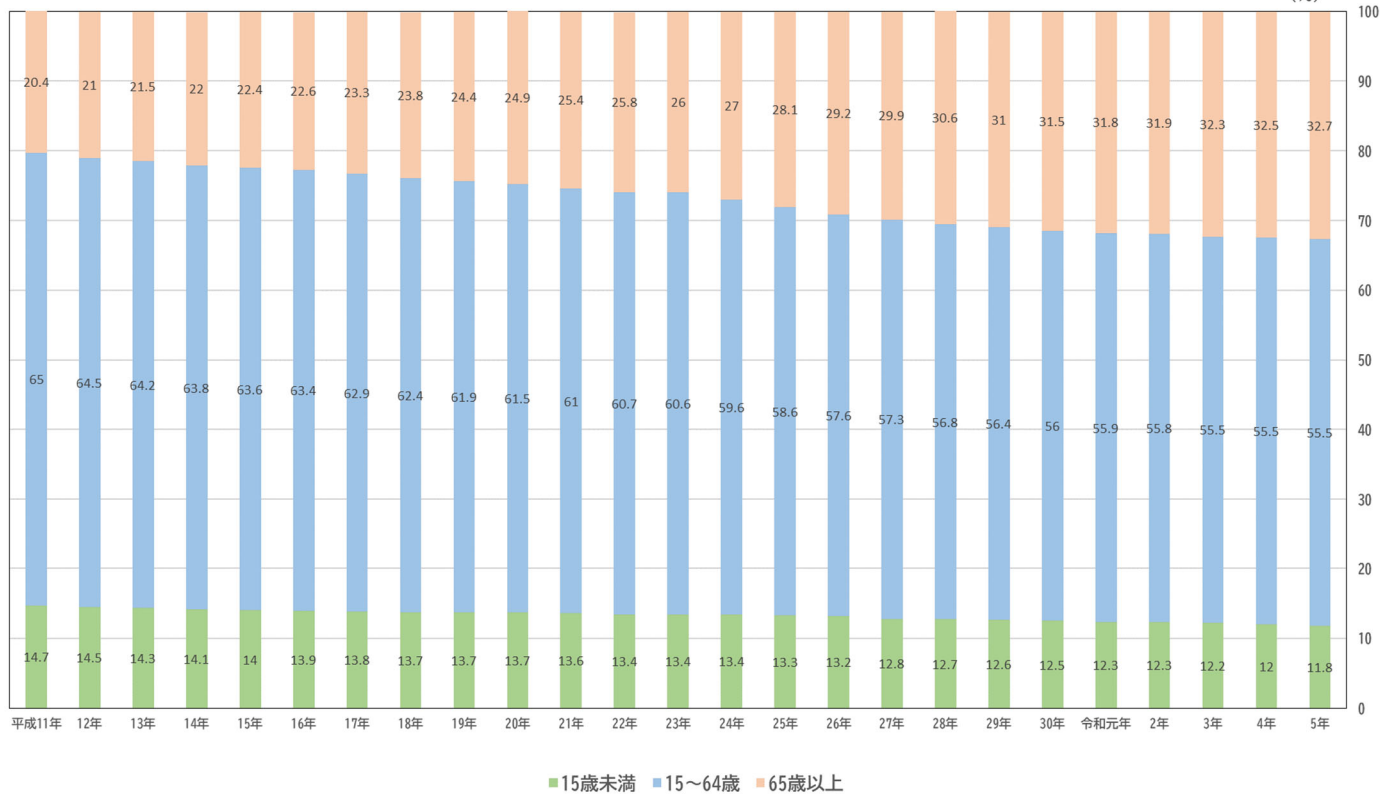


※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 2】

香川県の年齢別人口構成の推移（平成11年～令和5年）

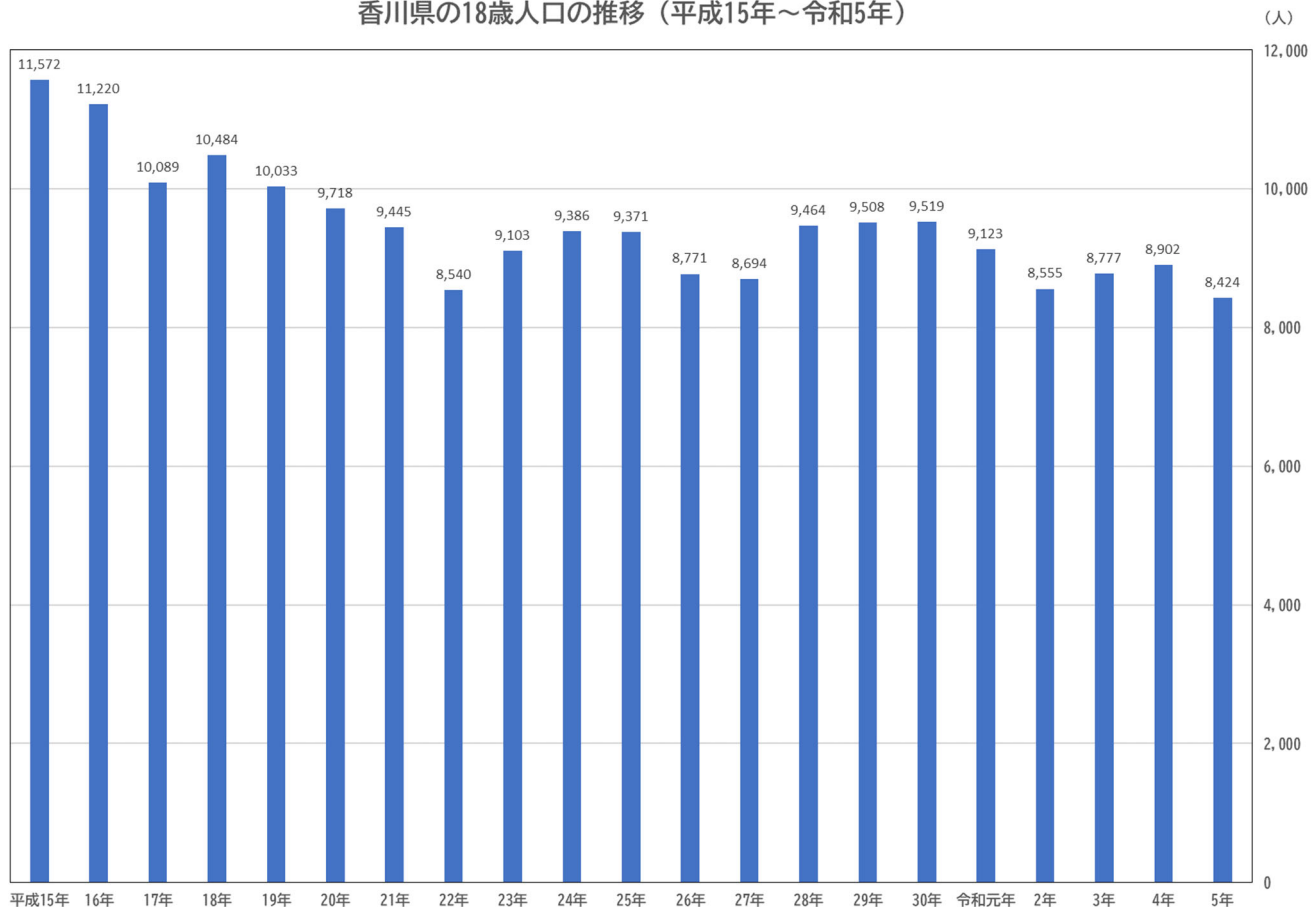
(%)



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 3】

香川県の18歳人口の推移（平成15年～令和5年）



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 4】

香川県内大学・短大への県内進学者数

入学年月	大 学			短 大		
	県内大学進学者数（人）	大学進学者（人）	割合（％）	県内短大進学者数（人）	短大進学者数（人）	割合（％）
令和5年4月	874	5,031	17.4	263	391	67.3
令和4年4月	850	4,876	17.4	282	385	73.2
令和3年4月	832	4,840	17.2	322	446	72.2
令和2年4月	827	4,929	16.8	322	487	66.1
平成31年4月	861	4,874	17.7	316	466	67.8
平成30年4月	837	4,778	17.5	362	517	70.0
平成29年4月	845	4,733	17.9	345	498	69.3
平成28年4月	785	4,461	17.6	302	476	63.4
平成27年4月	784	4,422	17.7	338	501	67.5
平成26年4月	752	4,513	16.7	333	522	63.8
平成25年4月	782	4,464	17.5	364	547	66.5
平成24年4月	701	4,311	16.3	328	527	62.2

※香川県統計調査課「学校基本統計」より作成

※「大学進学者数」及び「短大進学者数」は、県内高校出身者で大学・短大に進学した者の数

※「県内大学進学者数」及び「県内短大進学者数」は、県内高校出身者で県内大学・短大に進学した者の数

【図表 5】

県内大学卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	1,617	628	42.2	673	528	78.5
令和4年3月	1,514	667	44.1	610	476	78.0
令和3年3月	1,573	681	43.3	659	530	80.4
令和2年3月	1,648	668	40.5	627	485	77.4
平成31年3月	1,598	649	40.6	619	475	76.7
平成30年3月	1,548	655	42.3	584	473	81.0
平成29年3月	1,558	705	45.3	606	499	82.3
平成28年3月	1,511	646	42.8	557	442	82.3
平成27年3月	1,511	664	43.9	592	467	78.9
平成26年3月	1,443	664	46.0	579	486	83.9

県内短大卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	285	251	88.1	261	246	94.3
令和4年3月	301	272	90.4	276	263	95.3
令和3年3月	319	278	87.1	289	268	92.7
令和2年3月	327	292	89.3	308	288	93.5
平成31年3月	340	309	90.9	306	296	96.7
平成30年3月	300	271	90.3	275	263	95.6
平成29年3月	320	294	91.9	293	280	95.6
平成28年3月	325	296	91.1	295	283	95.9
平成27年3月	335	318	94.9	314	308	98.1
平成26年3月	298	266	89.3	267	254	95.1

県内高専卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	144	67	46.5	127	64	50.4
令和4年3月	144	59	41.0	129	55	42.6
令和3年3月	140	57	40.7	127	55	43.3
令和2年3月	169	54	32.0	154	53	34.4
平成31年3月	147	50	34.0	130	49	37.7
平成30年3月	146	59	40.4	138	58	42.0
平成29年3月	143	44	30.8	123	42	34.1
平成28年3月	137	46	33.6	120	44	36.7
平成27年3月	126	42	33.3	111	40	36.0
平成26年3月	152	57	37.5	140	55	39.3

※香川県集計

※1 県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※2 県内大学・短大・高専を卒業生して県内企業に就職した人数

※3 県内就職者数÷就職者

※4 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して就職した人数

※5 県内出身者で県内大学・短大・高専を卒業して県内企業に就職した人数

※6 県内出身者県内就職数÷県内出身者就職数

(5) ビジョン・基本目標及び数値目標

○ビジョン

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場を形成する

○「(1)現状と課題」で述べた課題に対応するため、次の基本目標を設定する。

I 大学等間の連携や大学等と県内高校等との連携の強化を図ることにより、教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、自県大学進学者の割合を増加させるとともに、県内大学等の入学者を維持する。

【取り組み】：①高大連携・進学推進事業

②大学等連携強化事業

II 地域企業がもつ魅力を発信し、県内大学生等の県内就職を促進する。

【取り組み】：①キャリア支援事業

②地域企業魅力発信強化事業

III 産学官の連携を促進する事業等を推進し、学生等が未知にチャレンジし、地域社会・経済の活性化を図る。

【取り組み】：①地域活性化実践事業

○総合的な達成度を測る目標指標を次のとおり設定する。

指標名	基準値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値設定の考え方
自県大学進学者の割合	17.4%	21.0%	2023年度の自県大学進学者の割合17.4%を基準として、2028年度の目標設定を21.0%とする。
県内大学卒業生の 県内就職率	42.2%	52.0%	2023年3月に卒業した県内大学・短大・高専生の県内就職率42.2%を基準として、2028年度の目標設定を52.0%とする。
学生等主体の新規事業数	4件 (累計)	10件 (累計)	2023年度までの新規事業数は4件（累計）を基準として、2028年度の目標設定は10件（累計）とする。

(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法

- ・評価体制：運営委員会において、活動指標に対する実績に基づく評価を行う。
- ・評価時期：原則として、事業年度終了の翌年度第2四半期末までに行うものとする。
- ・評価の反映方法：運営委員会における翌年度の事業計画策定時、前年度の評価及び意見を反映させることとする。

(7)ロードマップ

①高大連携・進学推進事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の連携により教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、県内進学者の増加を図る。	1	出前講座・体験講座等への講師派遣	1) 出前講座等 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 2) 香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 3) 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を行う。	1) 75件 2) 13講座 3) 1校	1)80件 2) 13講座 3) 1校	1) 85件 2)13講座 3) 2校	1) 90件 2)14講座 3) 2校	1) 95件 2)14講座 3) 3校	1) 100件 2)15講座 3) 3校	1) 100件 2) 15講座 3) 3校
	2	県内大学等合同進学説明会開催	大学等への理解を深めるため、合同の進学説明会を県内高校に出向き、県内大学から県内就職した卒業生を加えて実施	4校	5	10	10	10	10	10校
	3	教員対象県内大学等合同進学説明会開催	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施	ニーズ調査・検討	1	1	1	1	1	1回
	4	高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修等を実施 1) 大学等合同説明会 2) 機関紙「高P連だより」への大学等記事掲載	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回	1) 1回 2) 2回
	5	共同の広報活動	1) オープンキャンパスの共同広告 ホームページで日程表を公開 2) ホームページの活用 プラットフォームの様々な取組を公開 3) パンフレットスタンドの活用 高校に設置のパンフレットスタンドに県内大学等の資料を配付 4) デジタルキャンパスガイドの活用 大学等の魅力を県内外の高校生に	1) 1回 2) 随時実施 3) 随時実施 4) Webサイト 「かがわキャンパスガイド」を作成・公開 5) 1回	1 1回 2) 20回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 20回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 30回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 40回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 1回 2) 50回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回	1) 3回 2) 50回 3) 随時実施 4) 1回 5) 3回

			情報発信、県内周知のためのチラシ作成・配布 5) 校長会等での広報 校長会や担当者会に参加し、プラットフォームの取組みを周知、協力依頼							
	6	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

②大学等連携強化事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・大学等の連携により教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、県内進学者の増加を図る。	1	大学間の単位互換	・ 多様かつ柔軟な学修を推進するため、大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施 ・ 教科目の開発を検討	登録者数 10人	12人	14人	16人	18人	20人	登録者数 30人
	2	大学等教職員のFD・SD研修	大学等教職員研修の共同実施	3回	2回	2回	2回	3回	3回	3回
	3	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインを検討	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	4	数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるような教育体制の構築・普及	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	5	共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	6	学生の国際交流	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催	1回	1回	1回	2回	2回	2回	2回
	7	リスクマネジメント活動	災害等に対するリスクマネジメント対応 (各部会と連携)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回

③キャリア支援事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	かがわーくフェア	県内企業が参加する対面形式等での合同企業説明会を実施	2回 参加者317人	2回 320人	2回 320人	2回 350人	2回 350人	2回 380人	2回 380人
	2	業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	3回 参加学生86人	3回 100人	3回 120人	3回 140人	3回 160人	3回 180人	3回 180人
	3	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催	1回 参加学生19人	1回 30人	1回 40人	1回 50人	1回 60人	1回 60人	1回 60人
	4	外国人材活用セミナー＆交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法に関するセミナーを開催するとともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催	—	25社	25社	30社	30社	35社	35社
	5	学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催	—	1回	1回	1回	1回	1回	1回

④地域企業魅力発信強化事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	学生による企業インタビューの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューをする「インタビューシップ」の拡充	1) 高校4校 (225人) 2) 大学1校 (9人)	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 1校	1) 5校 2) 2校	1) 5校 2) 2校	1) 高校5校 + α 2) 大学2校
	2	高校・大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。	1校	2校	2校	3校	3校	4校	4校
	3	地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施	—	2回	2回	2回	2回	2回	2回

⑤地域活性化実践事業（主幹部会：地域活性化部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	学生等による観光等地域資源の情報発信等	観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施、効果的な発信のための講習会を実施	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回
	2	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等の開催	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
	3	学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む	—	2回	5回	5回	5回	5回	5回

【参考】県内大学等の学術分野マップ

	人文科学系	社会科学系	工学系	農学系	保健系	家政系	教育・芸術系
香川県立 保健医療大学					保健医療学部 看護学科 臨床検査学科		
香川大学		法学部 法学科 経済学部 経済学科	創造工学部 創造工学科	農学部 応用生物科学科	医学部 医学科 看護学科 臨床心理学科		教育学部 学校教育教員養成課程
四国学院大学	文学部 人文学科	社会福祉学部 社会福祉学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科					文学部 人文学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科
高松大学		経営学部 経営学科					発達科学部 子ども発達学科
徳島文理大学 香川キャンパス ※徳島キャンパス	文学部 文化財学科 日本文学科 英語英米文化学科	総合政策学部※ 総合政策学科 短期大学部※ 商科 言語コミュニケーション学科	理工学部 ナノ物質工学科 機械創造工学科 電子情報工学科 人間生活学部※ メディアデザイン学科 建築デザイン学科		香川薬学部 薬学科 薬学部※ 薬学科 保健福祉学部 診療放射線学科 臨床工学科 口腔保健学科※ 理学療法学科※ 看護学科※ 人間福祉学科※	人間生活学部 食物栄養学科 人間生活学科 短期大学部※ 生活科学科	音楽学部※ 音楽学科 人間生活学部※ 児童学科 心理学科 短期大学部※ 保育科 音楽科
香川短期大学 (2025年度より生活文化学科が食物栄養学科に経営情報科が経営情報・デザイン学科に名称変更)		経営情報・デザイン学科(情報ビジネスコース)				食物栄養学科	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部 経営情報・デザイン学科(デザインアートコース)
高松短期大学		ビジネスデザイン学科					保育学科
せとうち観光 専門職短期大学		観光振興学科					
香川高等専門学校			本科課程(5年) 機械工学科 電気情報工学科 機械電子工学科 建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科 専攻科課程(2年) 創造工学専攻 電子情報通信工学専攻				

【参考】

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）（抜粋）

重点政策⑦

人口100万人計画

移住・定住の促進や魅力ある地域づくり、関係人口の創出・拡大、県内大学等との連携強化などに取り組み、本県への人の流れをつくり、人口が減少し続ける流れを変え、定住人口の拡大につなげます。

現状と課題

- ◇ 本県の人口は、平成12（2000）年以来、減少が続いており、令和5（2023）年4月1日現在では約92.7万人となっています。令和4（2022）年香川県人口移動調査報告では、転入者数33,645人、転出者数34,075人、430人の転出超過となっており、社会増減は転出超過傾向が続いています。
- ◇ 一方で、本県への移住者数は、令和4（2022）年度に2,499人となっており、働き方や意識の変化により地方移住への関心が高まる中、関心度やニーズに応じた施策の展開、デジタルの活用等により、移住・定住の促進に取り組み、本県への人の流れを創出する必要があります。
- ◇ 離島や過疎地域をはじめ、県下の各地域では、人口減少や高齢化により、地域を支える担い手の不足や地域社会の活力低下が懸念される状況にあります。地域住民主体の地域づくり活動の促進を図るとともに、地域外の人材も含め多様な担い手の確保・活用や、地域外の人材と地域をつなぐ中間支援組織の育成等に取り組む必要があります。
- ◇ 進学や就職の時期における若者の県内定着等の課題解決に向けて、若者が集う地域の県内大学等を基点に、地域の各主体間の連携を強化する必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 大都市圏への過度の集中のリスクが再認識され、地方移住への関心が高まっており、テレワークの活用を推進するなど、働き方や生活様式、ニーズの変化に対応した取組みが求められています。

取組みの方向

1 かがわの魅力の情報発信

- ◇ 移住の検討を始める方などに対して、市町や関係機関と連携した大都市圏での移住・交流フェア等の開催や、移住ポータルサイトやSNS、インターネット広告等さまざまな媒体の活用を通して、本県の魅力を情報発信します。

2 仕事や住まいのマッチング

- ◇ 移住希望者のニーズに応じた、移住・交流コーディネーターによる相談対応や関係機関と連携した就職相談、空き家バンクによる住宅の斡旋など、仕事や住まいのマッチングに取り組みます。

3 定住のサポート

- ◇ 移住された方々に安心して暮らし続けてもらえるよう、相談しやすい仕組みを整えるとともに、移住者同士のネットワークづくりが図られるよう、移住者交流会を開催するなど、定住のサポートを行います。

4 魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大

- ◇ 地域コミュニティの活性化を図るため、地域住民が主体となって実施する地域づくり活動を支援し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ◇ 地域を支える担い手の確保や中間支援組織の育成を図り、将来的な移住・定住につなげるため、関係人口と連携・協働して行う地域づくり活動を支援するほか、地域外の人々が離島等を訪れる仕掛けづくりに取り組むなど、関係人口の創出・拡大を図ります。

5 県内大学等との連携強化

- ◇ 県内大学等を基点とする産学官連携の枠組みを活用して、地域の社会経済を支える人材の育成・定着、人材が活躍する場の形成に向けて行う取組みを支援するなど、県内大学等との連携を強化し、県内大学等の拠点性や魅力の向上を図ります。
- ◇ 職業人材を育成する観点から、県内の専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援します。

6 県内就職の促進

- ◇ 県内企業の人材確保拠点である「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援を行うとともに、合同就職説明会やセミナー等の開催、オンラインを活用した情報発信・就職支援などに取り組み、若者等の県内就職を促進します。
- ◇ 高校でのキャリア教育における、地域企業等と連携したインターンシップ、県内企業の魅力や県内就職の利点の紹介などを通じ、高校生の主体的な進路選択につなげ、次代の香川を担う人材の育成を推進します。
- ◇ 学生に本県の魅力やUターン・県内就職に関する情報を提供するとともに、「就職支援に関する協定」を締結した県外の大学と連携し、学生の県内就職につなげていきます。
- ◇ 大学等卒業後に県内就職・地元定着した方に奨学金の返還の一部免除等を行う、本県独自の「香川県大学生等奨学金制度」や地元産業界とも連携して実施する「日本学生支援機構第一種奨学金返還支援制度」の実施により、若者の地元定着を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 本県の魅力の情報発信

[大学等]

- ・ 県市町、企業等と連携した人材の育成・定着や地域課題の解決

[企業]

- ・ 県のU J I ターン施策への理解・協力
- ・ 求める人材像や職場の魅力の積極的な発信
- ・ インターンシップの受入れ

[市町]

- ・ 移住検討者等への本県の魅力の情報発信
- ・ 移住希望者へのサポート
- ・ 地域コミュニティの活性化に資する取組みや地域の特性を生かした、関係人口の創出・拡大

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「かがわの魅力の情報発信」、「仕事や住まいのマッチング」、「定住のサポート」及び「県内就職の促進」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大」は、『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「県内大学等との連携強化」は、『4 質の高い教育をみんなに』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念とそれぞれ方向性が同じです。また、香川県大学生等奨学金制度等の実施は、『1 貧困をなくそう』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 29 移住の促進
- 30 若者の定住促進
- 31 地域を支える活動の促進
- 32 県内大学等の充実強化
- 33 県内大学等との連携強化

重点政策⑫

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

働き方改革を推進し、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、あらゆる世代や人材の活躍により、正規雇用の促進や雇用のミスマッチ解消、職業能力の開発などを推進し、本県産業を支える人材の安定的な確保を図ります。

現状と課題

- ◇ 少子高齢化の進行や県外への人口流出などにより、特に15歳から64歳までの生産年齢人口が減少する中、本県の有効求人倍率は、平成23（2011）年8月以降、1倍を超える状況が続いており、人材不足となっている県内企業は多く、あらゆる世代や人材の就労を促進し、本県の産業を支える人材の安定的な確保が求められています。
- ◇ 本県における年間総労働時間は概ね減少傾向にあるものの、全国平均に比べ長いことなどから、長時間労働の是正やテレワークの促進など働き方改革を推進することで、誰もが働きやすい職場環境づくりを進め、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するとともに、企業の労働生産性や魅力度の向上を支援する必要があります。
- ◇ 多くの業種や職種で人材が不足している一方、県内の事務的職業の有効求人倍率（令和4（2022）年）は、0.63倍と1倍を下回っており、求人と求職のミスマッチが生じています。
- ◇ 本県では、大学進学者の8割以上が県外へ進学しており、将来、地域経済を支える若者の県内への就職を促進するためには、県内外の学生等に県内企業の情報を発信し、若者の理解を深める必要があります。
- ◇ 若者の離職率（平成31（2019）年3月新規学卒就職者の3年目離職率）は、中卒61.1%、高卒32.3%、大卒31.6%となっており、若者の職場定着率向上のためには、若者や経営者等の意識改革を行う必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年10月末現在の県内の外国人労働者数は10,274人と、本県経済の持続的発展に必要不可欠な人材となっており、県内事業所における外国人材の受入れの支援を進めていく必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年6月末現在の県内在留外国人数は14,234人と、本県人口の約1.5%を占めており、日本人住民と外国人住民の双方が尊重し合える多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。
- ◇ 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力の開発を行う必要があり、高等技術学校の施設内訓練や民間教育訓練機関等を活用した委託訓練により、人材不足分野の職業訓練の充実・強化を図るとともに、新たに求められる分野の人材育成にも取り組む必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機にテレワークなどの多様で柔軟な働き方の導入が進んだことから、そのような働き方を定着させるとともに、より一層進めていく必要があります。

取組みの方向

1 働き方改革の推進

- ◇ 働き方改革の必要性や重要性を啓発するとともに、それぞれの状況に応じて、テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する企業等の取組みを支援することなどにより、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組みます。
- ◇ 雇用分野における労働関係法令等の普及啓発や、企業経営者や管理職、労働者の意識改革の促進などにより、働く意欲のあるすべての人が働きやすい職場環境づくりを推進します。

2 県内企業の人材確保

- ◇ 県内企業の持続的発展につなげるため、若者の雇用対策の充実や女性、高齢者、障害者等の就労支援、外国人材の受入れ支援・共生推進などに取り組むことにより、あらゆる世代・人材の安定的な確保を図ります。
- ◇ 「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」を県内企業の人材確保拠点と位置づけ、就職支援サイト「ワクサポかがわ」の運営や人材採用コーディネーターによるマッチング支援を通じて、関係機関と連携して学生や求職者の正規雇用での県内就職に向けた取組みを行うことにより、県内企業の人材確保を図ります。
- ◇ 人材不足が深刻化している分野については、多様な人材の活用を促進するとともに、人材確保が必要となる分野については、県内企業と求職者のニーズを踏まえ雇用のミスマッチを解消するなど、県内企業における人材確保に取り組みます。

3 若者の雇用対策の充実

- ◇ 就職活動前のキャリア教育などにより、学生に県内就職を考えるきっかけを提供するほか、「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援やオンラインを活用した情報発信や就職支援を行うとともに、合同就職説明会の開催などに取り組み、若者の正規雇用での県内就職を促進します。
- ◇ 雇用情勢を踏まえた雇用対策を進めるとともに、早い時期での離職を防ぐため、若手社員、経営者等に対する働きかけなどを実施し、若者の職場定着を図ります。
- ◇ 就職氷河期世代を含む若年無業者等に対しては、地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援を行います。

4 外国人材の受入れ支援・共生推進

- ◇ 「外国人労働人材関係相談窓口」と「かがわ外国人相談支援センター」が連携し、総合的な相談支援を行います。
- ◇ 県内事業所に対し、外国人材の受入れに関する情報提供や県内定着に向けた取組みを行うなど、受入れ・活躍を促進するための支援を行います。
- ◇ コミュニケーションや生活支援、防災面における支援などにより、外国人住民にとって暮らしやすい地域づくりを推進します。

5 職業能力の開発

- ◇ 職業に必要な知識や技能の習得をめざす求職者等に対し、県内企業のニーズや社会経済システムの変化を踏まえた実践的な職業訓練の機会を提供するとともに、県立高等技術学校のあり方についても検討し、職業能力開発の充実・強化を図ります。
- ◇ 技能検定の普及促進や技能の振興などに取り組み、優れた技能の社会的評価や価値の向上を図り、ものづくり技能に対する若者の意識と県民の理解を深め、次世代技能者の育成と技能の承継を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 業種や職種を超えた幅広い職業選択への理解
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・ 職業に必要な知識や技能の習得
- ・ 多文化共生の意識啓発・醸成

[企業]

- ・ 若者を含めた多様な人材の雇用と職場定着への取組み
- ・ 外国人材の受入環境の整備
- ・ テレワークなどの多様で柔軟な働き方をはじめ誰もが働きやすい職場環境づくり
- ・ 従業員の職業能力の向上

[大学・高専などの高等教育機関]

- ・ 学生に対するきめ細かな就職支援策の推進

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「働き方改革の推進」は、『3 すべての人に健康と福祉を』、『5 ジェンダー平等を実現しよう』、『8 働きがいも経済成長も』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と、「県内企業の人材確保」及び「若者の雇用対策の充実」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「外国人材の受入れ支援・共生推進」は、『8 働きがいも経済成長も』、『10 人や国の不平等をなくそう』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「職業能力の開発」は、『4 質の高い教育をみんなに』の理念とそれぞれ方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 44 産業の成長を支える人材の育成
- 59 安定した雇用の創出と就労支援
- 60 働き方改革の推進
- 61 外国人材の受入れ支援
- 62 外国人との共生推進
- 73 国際化の推進